

【ねらい】

- ・様々な教材を用いることで、生徒の興味関心を刺激する。
- ・作者の生涯や社会的背景を深く掘り下げることによって、それらにおける美術の働きを学ぶ。
- ・互いに調べた作者について発表し合うことで、より多くの作家、美術文化を理解することができる。

【教材】

鑑賞用 DVD、視聴覚機材、美術書籍、色鉛筆、デジタルカメラ、見本用チラシ、パソコン (word ソフト)、  
 <使用図書：ニュー・ベーシック・アート・シリーズ (出版社：タッチェン・ジャパン)>  
 各種プリント (感想プリント、鑑賞シート、調べ学習シート、展覧会企画シート)

【展開】

指導の段階と内容	時間	活動内容	備考および教材
導入 ① DVD 鑑賞	1 時間	・DVD を鑑賞し、プリントに感想を書く。	場所：視聴覚室  DVD、視聴覚機材、感想プリント
展開 ② 作品鑑賞 (書籍)	1 時間	・美術作品が掲載された書籍の中から、自分が興味を持った作品の一つを選び、“鑑賞シート”を用いて鑑賞する。	場所：図書室  美術書籍、鑑賞シート
③ 模写	3 時間	・②で選んだ作品を模写する。色鉛筆で着色する。	場所：図書室  美術書籍、鑑賞シート、色鉛筆
④ 調べ学習	5 時間	・②、③で選んだ作品の作者について、“調べ学習シート”を用いてできるだけ詳しく調べる。	場所：図書室  美術書籍、調べ学習シート
⑤ 展覧会企画	1 時間  3 時間	・④で調べた作者の個展を開くというコンセプトで、④の“調べ学習シート”と実際の展覧会チラシを参考に“展覧会企画シート”を用いて展覧会を企画する。  ・“展覧会企画シート”を基に、パソコンを用いて企画した展覧会のチラシを作成する。	場所：CP 室  展覧会企画シート、デジタルカメラ、見本用チラシ、パソコン ※チラシのメインビジュアルとなる作品は、生徒が②、③で選んだ作品を使用する。書籍をスキャンするか、デジタルカメラで撮影した画像をパソコンに取り込んで使用する。
発表・まとめ	1 時間	・⑤で作成したチラシを用いて、自分が調べた作者や作品を紹介するとともに、他の生徒が調べた作者や作品について学ぶ。	まとめカード

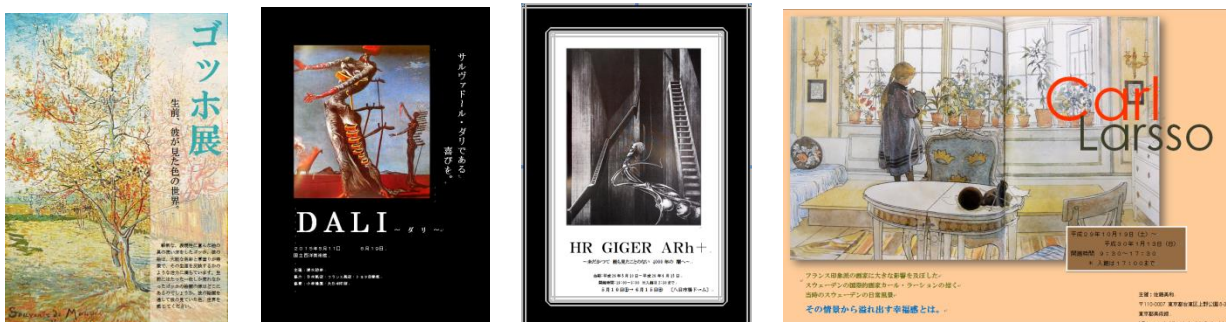
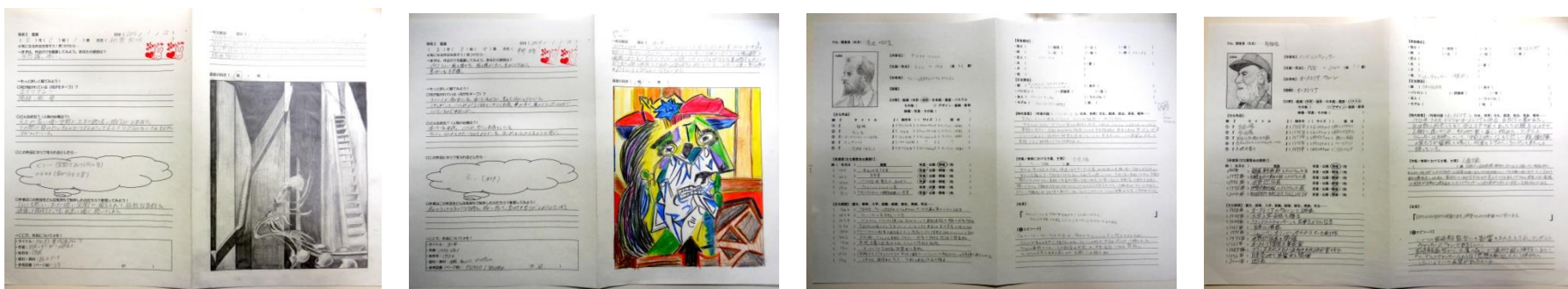
【観点別評価】

関心・意欲・態度	発想や構想の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の心情や意図に興味・関心を持ち、作品の個性や独自性といった表現の工夫を理解しようとしている。</li> <li>・調べた作者やその美術作品のよさを伝えようという意欲をもって、構想を練っている。[展覧会企画]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生涯やその思想が、作品の発想や構想、表現にどのように影響されているかを推察する。</li> <li>・美術展覧会チラシとしての目的、機能、美しさを考え、デザインが練られている。[展覧会企画]</li> </ul>
創造的な技能	鑑賞の能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術作品がもつ個性や独自性を観察、分析し再現できている。[模写]</li> <li>・必要な情報を簡潔にまとめ、鑑賞者の興味関心を引く効果的なデザインとなっている。[展覧会企画]</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者の生涯を通して、時代、民族、風土、宗教などと、美術の関わりについて学び、美術文化についての理解を深める。</li> <li>・日本及び諸外国の美術文化について理解している。</li> </ul>

【授業風景】



【生徒作品】



【生徒感想】

- ・ダヴィンチのモナリザ以外の絵にふれてみたくなりました。
- ・模写してみて、描くのがすごく難しい絵だということがわかった。
- ・調べてみて作者のイメージが変わりました！
- ・本を読んでいるとダリの面白いエピソードがわかって楽しい。
- ・他の人のチラシの作り方が上手で興味をもった。
- ・ロスコの生きてきた時代の大変さを知りました。
- ・絵と初めてきちんと向き合った気がする。
- ・PCでチラシ作るの楽しい！見やすいデザインを心掛けたい。
- ・本で分からなかったところは少し家で調べてみようと思う。